

業種別景況予測

2024年7月～9月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	4～6月 (実績)	7～9月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「従来この時期には、メーカーからの発注があり繁忙期になるが、今年は特にメーカーの動きが鈍く先行き不安。(毛布製造業)」「売上の減少に加え、原材料仕入価格や加工単価の増加により、収益状況は激減。(寝具製造業)」「在庫が増加傾向。収益の悪化に伴い資金繰りが厳しくなってきた。(紡毛糸製造業)」など、先行き不透明とのコメントが寄せられた。			
織維 ファッション			「全体的に良くない。原材料仕入価格の上昇が止まらず、収益状況は悪化傾向にある。(染色整理業)」「コロナ終息後も相変わらず仕事量が増えず、売上が減少。原材料仕入価格の上昇で収益に影響が出ている。(捺染加工業)」「在庫が増加。(服地等製造業)」とのコメントが寄せられた。			
工業			「原料不足、人手不足が問題化している。(鉄製品製造加工業)」「価格転嫁により、少なからず増収できている。(鉄鋼業)」「人手不足で依頼案件を受託できない。(機械器具設置修理業)」「原材料価格、エネルギー価格、労務費の上昇等を、販売価格にある程度転嫁できた。(工業用部品製造業)」など、人手不足・原材料高騰に関するコメントが寄せられた。			
建設			「売上が増加。収益・資金繰りが好転傾向。(スクラップ業)」「受注は増加したが、原材料仕入価格の上昇が止まらない。利益の確保ができない。(塗装業)」「人手不足が続いている。(警備業)」「品薄状況が続き、仕事が前に進まない。(電気工事業)」などのコメントが寄せられた。			
運輸倉庫			「輸入商品の受け入れが減少。全ての値上げが提示されており、今後、さらに厳しい状況になりそう。(倉庫業)」「人手不足が否めず、時間の制約が厳しく仕事を選ばないといけないのが苦しい。(運送業)」「運転手の減少で回転が悪く売上が伸びない。(運送業)」とのコメントが寄せられた。			
金融理財			「雑務が増え、忙しい割には売上に結びつかない。(土業)」「動きが鈍く全体的に不調傾向。(不動産賃貸業)」「コロナ禍、経費節減等で契約が減少。コロナが終息したが契約が戻らない。(保険代理店)」「単発の契約が増え、売上が増加したが、今後は不透明。(土業)」などのコメントが寄せられた。			
一般商業			「商品の回転が悪く在庫が増えている。売上の低下と仕入れ価格の増加で収益が悪化。(小物販売)」「売上・収益ともに不調の中、高額にも関わらず電動自転車の購入者が多い。(自転車販売)」「物価高で、財布の紐が固くなったように思う。(菓子製造販売)」など、消費落ち込みに関するコメントが多く寄せられた。			
サービス商業			「売上は横ばい状況だが、原材料の仕入れ価格の上昇で、収益は悪化傾向。(飲食業)」「物価高の影響が深刻。客足がなかなか戻らない。(飲食業)」「インバウンド増加により宿泊・朝食などは売上が増加しているが人員が追いついていない。(宿泊施設運営業)」「子供の人数が減少。新規の獲得が困難。(塾経営)」など、のコメントが寄せられた。			

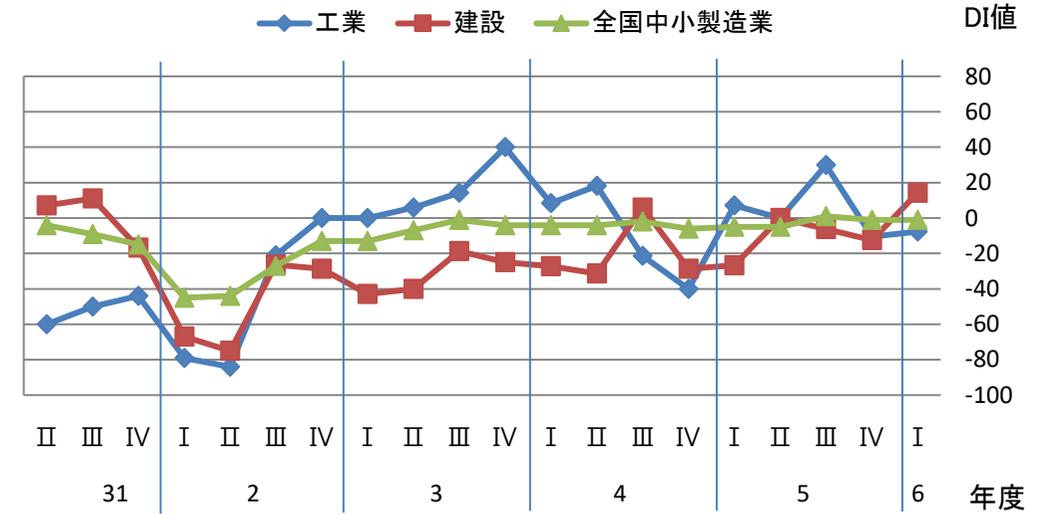
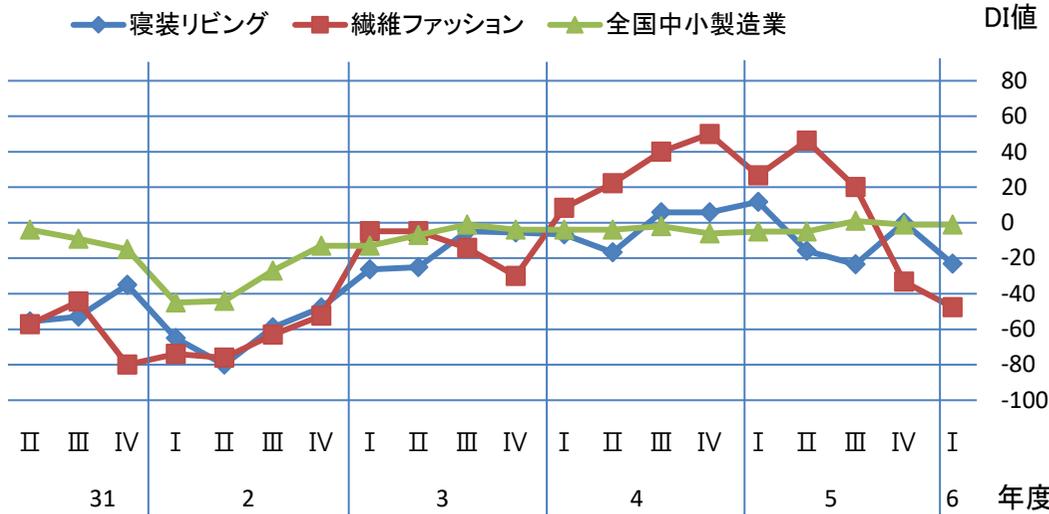
(調査概要) ●調査実施 令和6年7月 ●調査対象企業 285社 ●回答数 139社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 業務課 TEL 0725-23-1111

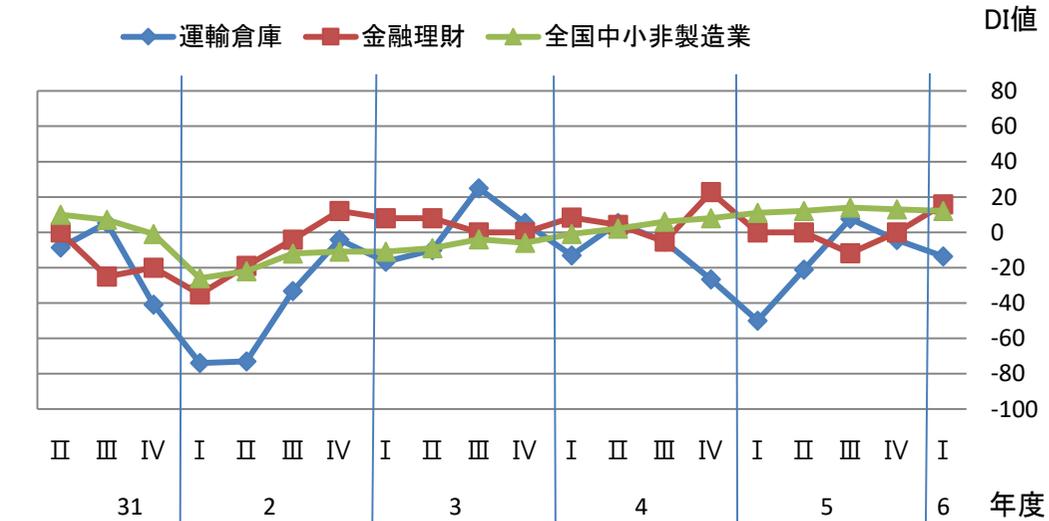
前年同期と比較

泉大津の全産業のDI値は前年同期に比べ、やや悪化。業種別にみると、金融理財業・建設業についてはやや改善か改善され、サービス商業は横ばい、工業・運輸倉庫業・一般商業はやや悪化、寝装リビング業は悪化、繊維ファッション業はきわめて悪化となったが、個別差がある。(表面実績欄参照)



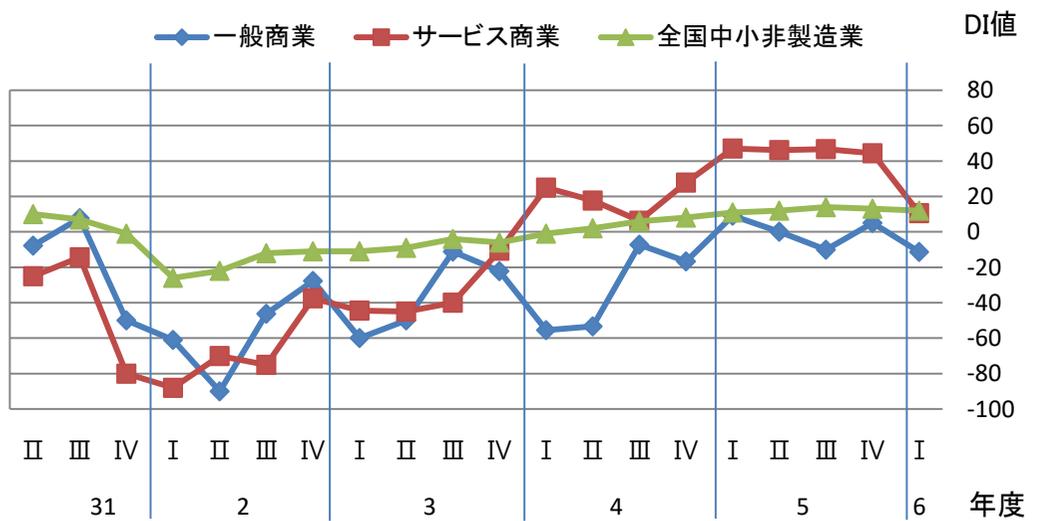
前年同期と比較

売上高について、寝装リビング業は減少傾向、繊維ファッション業は大幅に減少となり、何れも、仕入価格・加工単価の上昇により、収益が悪化となった。



前年同期と比較

売上高について、建設業は改善されながらも、工業はほぼ横ばい。仕入価格・加工単価の上昇が止まらない中、収益は不変との回答が多かった。



前年同期と比較

運輸倉庫業については、売上減少・燃料価格上昇により収益がやや悪化となった。金融理財業については、売上・収益ともに不変との回答が多く、全体的に改善傾向にある。

前年同期と比較

売上については、両業種とも不変との回答が多いものの、仕入れ価格が大きく上昇していることで、収益は悪化傾向にある。

※DI値: 売上状況の回答 (増加-減少=DI値) ※H30.7 ゲリラ豪雨 ※H30.9 台風21号 ※R2.3 新型コロナウイルス感染症拡大
 I = 第一四半期(4~6月) II = 第二四半期(7~9月) III = 第三四半期(10~12月) IV = 第四四半期(翌年1~3月)

⑨ 全国中小製造業・非製造業は前期と比較しています。